

みずほマーケット・トピック(2020年7月22日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

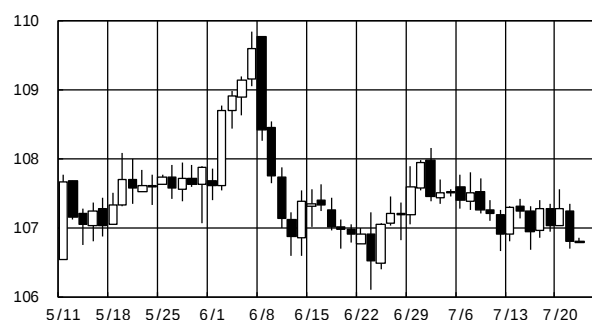
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は円高が進展する展開。週初20日、107円台前半でオープンしたドル/円は、仲値にかけてドル買いが優勢となり一時週高値の107.57円まで上昇した。その後は輸出企業による売りが進み、欧州時間でユーロ/ドルが買われる動きに伴って107円付近までじりじりと下落した。終盤は小幅に値を上げて、107円台前半での取引となった。21日は、日米の株式市場が堅調に推移したことで底堅い値動きが続いた。米国時間では金価格が史上最高値を更新する中、ドル売りが先行し、ユーロ/ドルが上昇する動きもあいまってじり安の展開となった。ムシューニン米財務長官が第四弾の景気対策について進展を示唆する発言をすると、リスクオンのドル売りが進展して、ドル/円は一時週安値の106.68円をつけた。本日は106円台後半での取引が続いている。
- 今週のユーロ/ドル相場は、年初来高値を更新する展開。週初20日、1.14台半ばでオープンしたユーロ/ドルはEU復興基金の合意に向けて、ルッテ・オランダ首相が補助金と融資の比率に関して依然慎重な見方を示したことが嫌気され、一時週安値の1.1400まで下落した。その後は新型コロナウイルスのワクチン開発で良好な結果が得られたとの報道を受け、リスク志向から1.14台半ばまで次第に値を戻した。その間、EU復興基金に関するヘッドラインが交錯したが為替への影響は限定的であった。21日は、EU復興基金が返済義務のない補助金3,900億ユーロを含む計7,500億ユーロで合意との報道を受けて値を上げる展開。局所的に売りが入ることがあったものの、米国での景気対策に関するヘッドラインもユーロ買いを後押しして、後半にかけて1.15を上抜けて、一時年初来高値を更新する1.1540まで上昇した。本日も高値付近での推移が続いている。

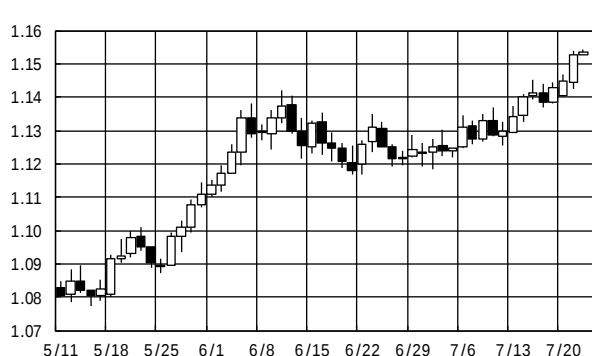
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		7/17(Fri)	7/20(Mon)	7/21(Tue)	7/22(Wed)	7/23(Thu)
ドル/円	東京9:00	107.29	107.11	107.19	-	-
	High	107.36	107.57	107.37	-	-
	Low	106.94	107.03	106.68	-	-
	NY 17:00	107.03	107.27	106.80	-	-
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1388	1.1441	1.1456	-	-
	High	1.1443	1.1467	1.1540	-	-
	Low	1.1378	1.1400	1.1423	-	-
	NY 17:00	1.1428	1.1449	1.1527	-	-
ユーロ/円	東京9:00	122.24	122.47	122.79	-	-
	High	122.56	122.97	123.16	-	-
	Low	121.93	122.27	122.48	-	-
	NY 17:00	122.27	122.79	123.08	-	-
日経平均株価		22,696.42	22,717.48	22,884.22	-	-
TOPIX		1,573.85	1,577.03	1,582.74	-	-
NYダウ工業株30種平均		26,671.95	26,680.87	26,840.40	-	-
NASDAQ		10,503.19	10,767.09	10,680.36	-	-
日本10年債		0.01%	0.02%	0.01%	-	-
米国10年債		0.62%	0.61%	0.60%	-	-
原油価格(WTI)		40.75	40.92	41.92	-	-
金(NY)		1,810.00	1,817.40	1,843.90	-	-

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

米国では、28(火)～29日(水)に FOMC の開催を控えている。前回 6 月の会合では、政策金利は現状維持となり、少なくとも 2022 年までゼロ金利を継続する方針が示された。そのほか、これまで無制限とされていた資産購入規模については、金額を明示する形式に改められた。FRB は依然新型コロナウイルスの感染拡大第二波による景気の冷え込みを警戒しており、その後に公表された FOMC 議事要旨では今後の金融政策の指針として、リーマンショック時以来となるフォワードガイダンスの採用検討や量的緩和の拡大、イールドカーブコントロール(YCC)導入に関して議論されたことが明らかとなった。うち、YCC の導入に関しては、大量の国債購入を要することや出口戦略の難しさが指摘されるなど慎重な見方が優勢となった。その一方で、FRB メンバーの間でフォワードガイダンスや大規模な資産購入は雇用最大化と物価安定の達成のために重要な役割を果たすとの見解が一致した。景気回復に向けて FRB があらゆる手段を行使することに広範な合意があったこともあり、フォワードガイダンスと量的緩和の拡大に関しては今後の争点ともなりそうだ。そのほか、30 日(木)には 4～6 月期 GDP(1 次速報)の発表を控える。ブルームバーグでは、前期比 ▲33.4%と予想されるなど、大幅な悪化が見込まれている。

本邦では 31 日(金)に 6 月失業率、有効求人倍率の発表を控える。失業率について、前回 5 月の結果は 2.9%と前月から+0.3%pts 上昇して、3 か月連続での悪化となった。4 月に過去最大を記録した休業者数は 423 万人(4 月:597 万人)と上昇は一服した。有効求人倍率に関しては、1.20 倍と 4 月から ▲0.12 倍下落して 5 か月連続の悪化を記録した。黒田日銀総裁は先週の金融政策決定会合後の会見にて、失業率は諸外国やリーマンショック後の状況に比べても良い状況にあると言及していたが、その一方で、市場では回復には相応の時間を要するとの見方が強まっている。緊急事態宣言が解除され非労働力人口となった層が職探しをすることで 6 月以降の失業率が上昇する可能性が指摘されている。

	本 邦	海 外
7 月 24 日(金)	祝日	・米 7 月製造業/サービス業 PMI(速報) ・米 6 月新築住宅販売件数 ・ユーロ圏 7 月製造業/サービス業 PMI(速報)
27 日(月)	・5 月景気動向指数(確報)	・米 7 月ダラス連銀製造業活動
28 日(火)	・6 月企業向けサービス価格指数	・米 7 月リッチモンド連銀製造業指数 ・米 FOMC(29 日まで)
29 日(水)	—————	・米パウエル FRB 議長会見
30 日(木)	・6 月小売売上高	・米 4～6 月期 GDP(1 次速報) ・ユーロ圏 6 月失業率
31 日(金)	・6 月失業率/有効求人倍率 ・6 月鉱工業生産(速報)	・米 6 月 PCE コアデフレーター ・ユーロ圏 4～6 月期 GDP(1 次速報)

【当面の主要行事日程(2020 年 7 月～)】

米 FOMC (7 月 28～29 日、9 月 15～16 日、11 月 4～5 日)
 ECB 政策理事会 (9 月 10 日、10 月 29 日、12 月 10 日)
 日銀金融政策決定会合 (9 月 16～17 日、10 月 28～29 日、12 月 17～18 日)
 G20 財務相・中央銀行総裁会合(10 月 15～16 日)

市場営業部・金融市場部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2020年7月21日	欧州銀行の貸出態度調査～ロックダウンの深手～
2020年7月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年6月分)
	臨時EU首脳会議で透けて見えた「第三の亀裂」
2020年7月17日	週末版(ECB政策理事会を終えて～PEPPは使い切り、「2つの機能」に向けて～)
2020年7月16日	ユーロ相場の近況について～上昇の瀬戸際～
2020年7月15日	臨時EU首脳会議～交錯する「2人の議長」～
2020年7月14日	円相場の基礎的需給環境の現状と展望
2020年7月13日	ECBプレビュー～ラガルドインタビューは現状維持を示唆～
2020年7月10日	週末版
2020年7月9日	カレンシーボードに迫る脅威～米国の「諸刃の剣」～
2020年7月8日	増格分の天井に近づいたECBの拡大資産購入プログラム(APP)
2020年7月7日	対外直接投資はこれからも増えるのか？
2020年7月3日	週末版(明らかになる「物価差なき世界」～金利と共に失われる為替の変動要因～)
2020年7月2日	金価格が上がっている理由～リスクオフという方便～
2020年7月1日	円相場の需給環境～ストック円高、フロー円安～
2020年6月26日	週末版(IMF、GFSR改訂を受けて～「実力以上の株価」という必要悪～)
2020年6月25日	ユーロ相場はなぜ堅調なのか？
2020年6月23日	メルケル首相に託されたEU復興基金の先行き
2020年6月22日	ECB、「真のバズーカ」と「影の政策金利」
2020年6月19日	週末版
2020年6月18日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年5月分)
	香港ドル相場の現状と展望～ベッグ崩壊の現実的な可能性は～
2020年6月17日	二番底はメインシナリオの1つとして見るべきか
2020年6月15日	29年連続「世界最大の対外純資産国」の読み解き方
2020年6月12日	週末版(EU首脳会議プレビュー～メルケル首相への花道論も～)
2020年6月11日	FOMCを終えて～当分失われそうなドル/円のボラティリティ～
2020年6月9日	米国はいずれ通貨政策に訴えかけるのか？～特権の行使～
2020年6月8日	金利上昇を容認したFRBと視野に入るYCC
2020年6月5日	週末版(ECB政策理事会を終えて～2022年末までバランスシート残高は高止まり～)
2020年6月4日	明らかにされたパンデミック緊急購入プログラムの全貌
2020年6月3日	米個人消費・所得、急変動に透けて見える日本化の胎動
2020年5月29日	週末版(ECB政策理事会プレビュー～PEPPに孕む隠蔽リスク～)
2020年5月27日	最近の元安・ドル高相場の読み方
2020年5月26日	IMF「国際金融安定報告」続報から読み取れるもの
2020年5月22日	週末版(EU復興基金設立の現状と展望～立ちはだかる「新ハンザ同盟」の壁～)
2020年5月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年4月分)
	コロナショックは反グローバルの「とどめ」なのか？
2020年5月19日	アフターコロナの世界で定着しそうな「皮肉な株高」
2020年5月15日	週末版(マイナス金利を正当化したECB論文～「次の一手」としての深掘りを予見させるものか？～)
2020年5月14日	不安を吐露したパウエル議長とマイナス金利の足音
2020年5月12日	独憲法裁判所の判断とECB買い入れ近況について
2020年5月8日	アフターコロナはインフレか？デフレか？
2020年5月7日	アフターコロナで注目したい世界の「日本化」兆候
2020年5月1日	週末版(ECB政策理事会を終えて～形骸化する政策金利と「次の一手」～)
2020年4月28日	日銀金融政策決定会合を受けて～同調圧力への対応～
2020年4月24日	週末版(原油急落に感じる株・為替市場との差異～原油に「ごまかし」は効かず～)
2020年4月22日	拡張財政と「ドルの信認」～目先の下落は濃厚か？～
2020年4月21日	資本逃避スピードはリーマンショックの倍に～IMF報告～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年3月分)
2020年4月17日	週末版(「The Great Lockdown」で最も傷が深いのは欧州か？～IMF世界経済見通し～)
2020年4月15日	ECBの「次の一手」はYCCも視野に～工夫も必要～
2020年4月14日	「超リスクオフ」から「リスクオフ」へ～改めて米金利を意識へ～
2020年4月10日	週末版(明らかになったECB資産購入の実情～このペースではあと半年が限度～)
2020年4月9日	英国のEU離脱はどこへ～移行期間は延長不可避の情勢～
2020年4月7日	「金利差なき世界」のあるべき視座～big picture～
2020年4月6日	「悲観の極み」の中で「光」をどう見出すべきか
2020年4月3日	週末版(「令和元年度 企業行動に関するアンケート調査」を受けて～かすかに暗雲漂う円相場～)
2020年4月2日	今でも「危機対応のフロントランナー」の日銀
2020年4月1日	過去最大のスタートダッシュを切ったECB
2020年3月30日	ドル高の裏にある新興国通貨安～半分はメキシコ由来～
2020年3月27日	週末版(EUが直面する「第三の危機」～債務、難民そして疫病～)
2020年3月26日	EUに楔を打ち込む中国～マスク外交と侮れず～
2020年3月25日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年2月分)
	リスクシナリオも繰り直し～日米金利差逆転というリスク～
2020年3月24日	「ドル化する世界」と新興国通貨の選別
2020年3月23日	「08年型のドル高」と円の「2大ステータス」
2020年3月19日	週末版(踏み込んだECB、パンデミック緊急資産購入プログラム～「抜かずの宝刀」も抜かれるのか？～)
2020年3月18日	FOMCレビュー～「不要不急で自滅」は予定通り？～
2020年3月17日	ECB政策理事会レビュー～胆力と失望の狭間～
2020年3月13日	週末版
2020年3月11日	ECB政策理事会プレビュー～実質的なデビュー戦～
2020年3月10日	日銀の「次の一手」を考える～GPIFとの共同戦線は？～
2020年3月9日	ドル安相場の当然の帰結～疫病は契機に過ぎず～
2020年3月6日	週末版
2020年3月5日	欧州難民危機再び？～「見えない脅威」と「見える脅威」～
2020年3月4日	不要不急の利下げで自滅したFRB
2020年3月3日	各国政府・中銀の政策協調姿勢を受けて
2020年3月2日	最強通貨に返り咲いた円～年初来変化率がプラスに～
2020年2月28日	週末版(メインシナリオに関するリスク点検～疫病リスク、米利下げ、円高～)
2020年2月27日	健在だった「安全資産としての円買い」と加速する悲観
2020年2月21日	週末版(忌避されるユーロ～通貨安政策として先鋭化するマイナス金利政策～)
2020年2月20日	円急落は「日本売り」の結果なのか？
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年1月分)
2020年2月19日	危機モードが続く為替市場と無国籍通貨「金」の上昇
2020年2月18日	ユーロ圏経済の現状～中国とユーロ圏が風邪を引くと・・・
2020年2月14日	週末版
2020年2月13日	それほど信頼できない「3月円高説」の実情
2020年2月12日	流動化し始めたドイツ政局～メルケル退陣まで1年半余り～
2020年2月10日	良好な雇用統計が浮き彫りにした市場の「甘え」
2020年2月7日	週末版(上がりそうにない原油価格～3つの理由と共にドル/円相場への含意を考える～)
2020年2月6日	改善が続く企業マインドをどう読むべきか